

クラブ内表彰

2000. 1.



- ◇女性ボランティア賞  
トルコを支援する会 土山 信子氏
- ◇青少年ボランティア賞  
グループ・フラップ  
(熊本福祉専門学校)



私たちの歩み No.4

1999年7月~2000年6月活動報告

新メンバーの紹介

2000. 5.



入会式

左 土井口哲子さん  
右 川島直子さん

1999. 7~2000. 6

役員名

|           |                |
|-----------|----------------|
| 会長        | 片山 紘子          |
| 副会長       | 成松真理子<br>松尾妃都美 |
| ヒューマンリソース | 野尻 桂子          |
| コーディネーター  | 藤原美智子          |
| トレジャー     | 榎田 令子          |
| アシスタント    | 三井 邦子          |
| 1年理事      | 田中扶慈子          |
| 2年理事      | 伊東 美礼          |
| デレゲート     | 出田 節子          |

編集後記

広報活動を通して、クラブの全体像が見えてきたのは役得でした。「私たちの歩み」作成にあたっては、会員の協力に助けられました。感謝いたします。 松田

発行

2000年6月30日  
国際ソロプチミスト熊本-さくら  
広報委員 松田ゆみ子 小斎 幸代  
例会日時/毎月第3水曜日  
10:00~12:00  
例会場/ホテルニューオータニ熊本  
TEL (096) 326-1111

国際ソロプチミスト  
熊本-さくら

## 1年間を振り返って



会長 片山 紘子

新旧ミレニアムにわたる記念すべき年度そして熊本での国民体育大会やハートフル熊本開催の年に会長をつとめました事は、忘れる事が出来ない素晴らしい思い出となりました。

任期を終えようとしている今いろんな事が思い出されます。クラブ会長として、常に心に掛けてきた事それは会員同志の心の触れ合い、“和”を大切にしながら出来る範囲での無理のない奉仕活動を続けていくことでした。チャーターから6期目ですので、会員がソロプチミストである事を自覚し、夫々の委員

会で企画された活動をお互いに協力し助け合い励まし合い乍ら活発な活動が行われました。また先日のリジョン大会では、分科会に出席し皆さんよく勉強してこられたのには感心しました。これから機会ある毎に、活かし学んでいけたらと思います。Sクラブとの交流も深まりました。18号台風を通しては姉妹クラブ同志が助け合う事の大切さを教わりました。

1年間を通して、私は物事は、その時世の眼で見る事の重要性、そして時代の流れに相応の実力をつけていかねばならない事を学びました。その時世をよく知り、その時代の情報をキャッチする努力をする事の大切さを知りました。これを無駄にしないように今後の私の生活の中に生かしていけたらと思います。

次年度からお二人の会員も迎えます。皆さんと更に楽しい活動を続けていけるように頑張らしましょう。

## アメリカ研修を終えて



1999年7月23日に行われたユースフォーラム九州大会で入賞した野中さん(左から2人目)

ソロプチミストのおかげで一般の旅行では経験できない所へ行くことができました。楽しい研修でした。

アメリカではソロプチミストの家庭にホームステイさせていただき、ソロプチミストについても理解できました。お世話になったことを忘れないで、私も将来何かの形でソロプチミストのお手伝いをしたいと思っています。

野中 麻里子

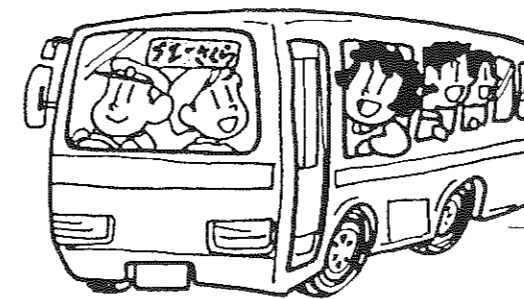
## 環境研修旅行

1999.11.

熊本県阿蘇郡小国町での移動例会と環境視察研修旅行



はなむらにて



森林全管理センター

モッコン館

はなむら(昼食)

坂本善三美術館

ゆうステーション(土産)

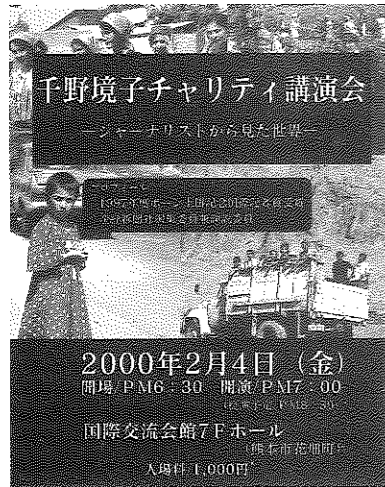
11月17日、熊本県阿蘇郡小国町へ移動例会を兼ねた、環境視察研修旅行を行いました。小国町は、自然に囲まれた素晴らしい所です。その環境を活かし守りながら地域の活性化を目指しています。『環境教育』は、まず見てふれることが大事であること、

自然環境の保全の難しさなど、有意義な研修でした。又、初めての『移動例会』で、会員もリフレッシュ、笑い声の絶えない楽しい旅行となりました。

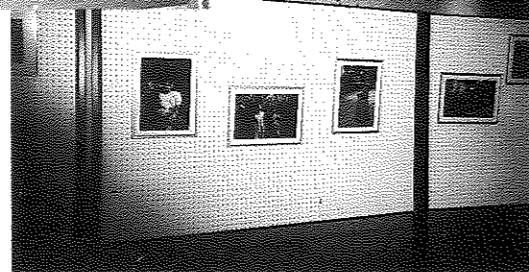
(環境奉仕委員会)

ちの けいこ  
千野 境子チャリティ講演会

2000.2.



千野境子氏



パネル展



歳入事業を企画する上で大切なのは、会員全員の気持ちが一つになって事業を達成することに、喜びを感じる様な企画を立てることを心掛けることです。

今年は、千野境子さんの講演会を、国際交流会館7階ホールにて、2月4日に開催いたしました。

千野さんは、国際報道を通じて国際理解に貢献した者に贈られるボーン上田記念国際記者賞を、1997年度に受賞されており、現在、産経新聞社で編集委員兼論説委員をなさっており、新聞紙上でもお名前をお見かけするなどご活躍です。

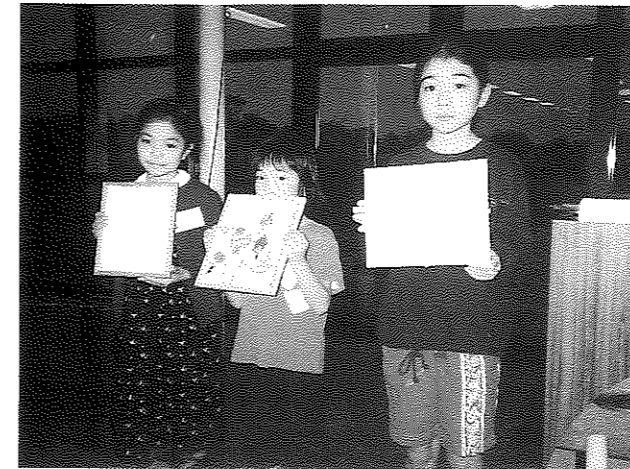
「ジャーナリストから見た世界」の演題でしたが、マニラ・ニューヨーク・シンガポール等での支局長歴任中の体験に基づく各地の現状、日本人として考えなければならない事などを、グローバルな観点から講演され、小柄な姿から想像もつかないパワーを感じることが出来ました。

例年になく、男性の聴衆も見られ、講演の内容に興味を持ち来場された様でした。ラジオや新聞での広報宣伝の反応も多く手応えを感じた講演会でした。

(歳入委員会)

さくらパーティ

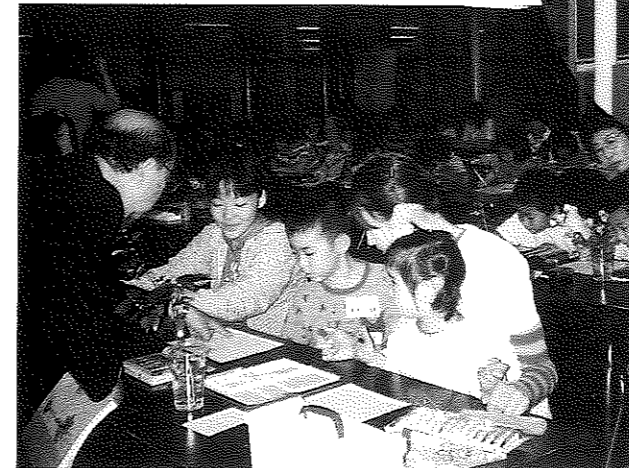
2000.5.



入賞した子供達



参加者全員で



今年の「第3回さくらパーティ」は、5月27日(土)、動植物園にて小学生を対象に植物画の「スケッチ大会」と決定しました。いろいろとアドバイスを受けながら準備を進め、当日を迎えることができました。

低気圧の影響で朝から大雨・・・その大雨の中を小学生40余名・保護者・慶誠高校の生徒、総数100余名が集まりました。(会員20名を含む)

中学校を退職された石原信二先生を講師としてお迎えし、植物画(ポタニカルアート)についてお話を聞き、その後絵を描きました。雨だったため散策

が出来ず画材は会員が持ち寄った草花でした。しかし、子供達はもちろん、保護者の方、高校生、会員も真剣な眼差しで取り組んでいました。

昼食をとることも忘れて一生懸命描いている子、お友達と参加したことが嬉しい子・・・子供達にとって豪雨は無関係でした。

金賞・銀賞を選考中、動植物園園長先生からお話をお聞きしましたが、子供達の質問が多く予定時間をオーバーしてしまいました。雨が心配で終了時間を繰り上げましたが、子供達のあの輝く瞳を見ると開催して本当に良かったと思いました。

(教育奉仕委員会)

1999年7月~2000年6月



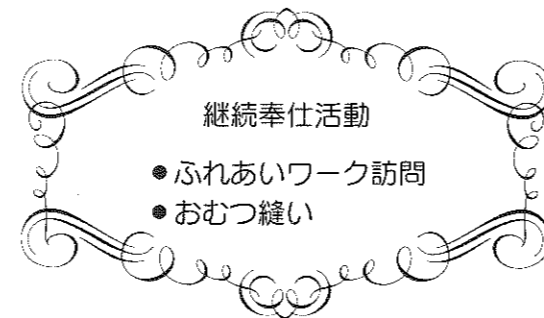
赤い羽根共同募金



裏千家茶道家元千宗室氏  
記念講演

主な活動

- ユースフォーラム日本南リジョン大会
- チャリティバザー
- 赤い羽根共同募金
- 慶誠高校文化祭
- 移動例会（環境研修旅行）
- ソロプチミスト日本財団年次大会
- ふれあいワークのクリスマス会
- ハンド イン ハンド街頭募金
- クラブ内表彰
- 千野境子チャリティ講演会
- 第14回日本南リジョン大会
- 新入会員の入会式
- 第3回さくらパーティ「植物画スケッチ大会」



チャリティバザー

1999. 8.

認証6年目のチャリティバザーで、特記すべき事は初めて単独で開催したことです。これまでは、熊本市のボランティア週間の一環としてのバザーでしたが、今回は下通繁栄会への許可申請やワゴンの発注等と、いつもと違う手続きはありましたが、先輩クラブの実績のおかげで、スムーズに出来た事を感謝しました。

商品には、各自で値段付けをし、提供された品数も270点余りになりました。

8月26日、11時からの開始を待ちきれずに並んで下さったお客様に、例年と違う熱意を感じ、開店後、1時間で完売しました。

担当委員に負担をかけない準備方法で当日の所要時間も2時間程でした。終了後には、会員で昼食を囲む時間も持て一層の親睦をはかれた事も大変嬉しいことでした。

(歳入委員会)



ハンセン病についての卓話

2000. 3.

「ハンセン病について」菊池恵楓園園長由布雅夫先生にお伺いしました。体験に基づいた含蓄のあるお話に、会員一同心を打たれました。元患者さんの人権が回復された今、地域社会の理解と協力が得られるようになり、心穏やかな日々をお過ごしになっていることを知りました。

(人権女性の地位向上委員会)

